



# 茶屋町の情緒漂う紅殻格子 三丁町

おばあすか  
小浜市小浜飛鳥 など

三丁町を歩くと、北前船の寄港地として栄えた当時の面影と風雅の香りが漂ってくる。近くには浅井三姉妹の次女「お初」が眠る常高寺…。しばし、時が経つのを忘れる。



おばあすかにくみ  
小浜西組重要伝統的建造物群保存地区の一角 三丁町



ほうまつり  
放生祭 (県民俗文化財) ①



地区住民による一門一灯運動②

おばあすかにくみ  
小浜市小浜西組地区は重要伝統的建造物群保存地区に選定され、丹後街道が東に折れ曲がる周辺を境にして、東に商家町、西に茶屋町、後瀬山麓および西端部には寺町が形成されています。茶屋町があったところは三丁町と呼ばれ、紅殻格子などを有した家並みが建ち並び、落ち着いた雰囲気を感じさせます。また、若狭地方最大の秋祭りである「放生祭」では、山車が練り歩き、歴史的な町並みと相まった風景が見られます。



じょうこうじ  
常高寺参道③



常高寺山門④

西組地区の西側には、<sup>じょうこうじ</sup>常高寺があります。常高寺は浅井三姉妹の次女であるお初が、夫である京極高次の菩提を弔うため出家（出家後は常高院と呼ばれる）して、寛永7年(1630年)に創建したものです。常高院は1633年に死去、常高寺に葬られました。その墓所は常高寺の裏にある山を数十m進んだところに残されています。



常高院墓所⑤

